

千葉県知事 森田 健作 様

生活協同組合コープみらい
理事長 新井 ちとせ

2019 年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

2020 年 4 月 20 日

* 数値は 2019 年 3 月 20 日時点

1. 報告

生活協同組合コープみらいの 2019 年度「ちばSSKプロジェクト等に関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2019 年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

(1) 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市区町村や警察等へ通報します。

▶2019 年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し、通報した件数は 32 件（宅配 24 件、店舗 8 件）でした。

【見守り事例】

コープデリ宅配の担当者が高齢の組合員宅へ配達に伺ったところ、組合員が「ここはどこかしら？」と認知症の症状が見受けられた。心配だったので、宅配センターより市の福祉課へ連絡し引き継ぎを行った。

▶コープみらいの移動店舗ふれあい便では、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買い物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設等 60 か所の停留所を週 1 回巡回し、高齢者の買い物を支援しました。

(2) 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。

▶新地域支援事業に関する会議

- ・浦安市入船 3 丁目地域ケア会議
- ・白井市生活支援体制第 1 層協議体会議
- ・白井市ふれあい会議（第 2 層協議体 B 圏域）
- ・柏西口地域ケア推進圏域会議

▶高齢者見守り等に関する会議

- ・富津市地域の支えあい体制づくり会議
- ・松戸市高齢者等の見守り活動に関する締結事業者の定例会
- ・一宮町地域支援ネットワーク会議
- ・習志野市高齢者見守り事業者ネットワーク協力事業者連絡会
- ・白井市高齢者見守りネットワーク連絡会議（コロナウイルスの影響により中止）

II 「ちばSSKプロジェクト」

(1) 「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、情報誌「ちばインフォメーション」（県内35万部発行）等の広報媒体の中で、「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。

- ▶「ちばインフォメーション」10月21日号に、「ちばSSKプロジェクト」の紹介とともに、コープみらいと県内の全市町村で締結している高齢者の見守り協定に基づいた対応事例について掲載しました（添付資料①）。

III 認知症対策

(1) 職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。

- ▶コープみらいでは、2009年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所で講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています。2019年度は30回の養成講座を開催し、新たに106人のサポーターを養成しました。
- ▶組合員活動でも認知症サポーター養成講座を実施しました。船橋市社会福祉協議会の協力のもと開催し、20人がオレンジリングを受け取りました。
- ▶松戸市常盤平地域包括支援センターの認知症カフェ開催に、会場提供などで協力しました。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

(1) 組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。

- ▶県内各地約80箇所毎月開催しました。高齢者も多数参加し、高齢者の仲間づくりや多世代交流の場としての役割を果たしています。

【みらいひろばでの事例】

「みらいひろば花見川団地」には団地に住む高齢者の方が多くいらっしゃいます。自治会でも紹介してくださり、毎月新しいメンバーが増えています。「行くところを探していました」という嬉しい声も届いています。「身体を動かして健康づくりをし

ています」「駅までバスを使わず歩いています」「この辺りではどこでラジオ体操をしているのかしら？」などおしゃべりに花が咲きます。「来月もまた来ます」という嬉しい言葉は開催しているブロック委員の励みになっています。

(2) 組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。

- ▶「地域クラブ」の登録数は全体で 1264 件（全世代含む）となり、高齢者も含め食・健康・福祉などをテーマに生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ「楡の会」では、佐倉市で独居の高齢者（約 55 人）に対し、月 1 回手作り弁当を届けながら、安否確認や誕生日に花束を届ける活動をしています。

地域クラブ「かっぼれ元気クラブ」では、月 1 回 60～80 代のシニア層を中心に歌声カフェを開催し、簡単な楽器演奏や体を動かすことを楽しんでいます。

その他、福祉・たすけあいを主たるテーマにして活動している地域クラブは 90 団体あり、地域のシニア層がより過ごしやすく元気で集まれる場づくりを目的に、自治体の老人クラブとコラボ企画を開催しているクラブもあります。

(3) 食育プログラムやエコプログラムを、老人クラブなど高齢者向けに実施します。

- ▶食育プログラムは、公民館や社会福祉協議会が実施するサロンなどで、高齢者向けの献立ゲームなどを実施しました（2019 年度実績：計 29 回のべ 581 人参加）。
- ▶エコプログラムは、公民館などで高齢者向けにステンシルマイバッグ作りや草木染などを実施しました（2019 年度実績：計 4 回のべ 72 人参加）。

(4) 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加、地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。

- ▶第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。
- ▶地域コミュニティへの参画として、組合員活動のなかで八街市「やちまたふくしフェスタ 2019」や大網白里市「健康フェスティバル」へ参加しました。また、佐原市のイムス佐原リハビリテーション病院や香取市保健センターの協力のもと、健康寿命をテーマに催しを開催しました。
- ▶都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」のパートナーとコープみらいの協働の取り組みを通じて、松戸市地域包括支援センターやまつど市民活動サポートセンター等が開催する、地域のサロンや防災フェア等で「防災・減災体験プログラム」を

実施したほか、交流会等に参加しました。

- ▶コープみらい津田沼デイサービスにて、習志野市地域包括支援センターに協力して高齢者の仲間づくり、居場所の提供を行いました。

V 高齢者の安全、安心

- (1) 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報誌「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。
 - ▶「ちばインフォメーション」に、「消費者被害防止」「交通安全運動」等に関する啓発記事やイベント等の情報を計 10 回掲載しました（添付資料②）
 - ▶「みらいひろば」の参加者向けに配布する通信にて「アポ電」について掲載し、高齢者の消費者被害防止の注意喚起を行いました（添付資料③）。
 - ▶コープ花見川店サービスカウンター横で、千葉市消費生活センターが 2 か月に 1 回相談窓口を設置し、消費者センターの紹介及び簡単な相談を受け付けました。
 - ▶ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

以上